

高崎商科大学・令和2年度運営方針

高崎商科大学長

I 前文

社会環境の変化への対応 1 少子高齢化 2 超情報化 3 ローカル化・グローバル化

- ・ 自主・自立の建学の精神に立ち、本学の「社会的価値」を高める
- ・ 「実学重視」「人間尊重」「未来創造」の教育理念の下にビジネス社会のリーダーとなる人材を育成する。「知の拠点」として、社会・地域と交流しその発展に貢献する
- ・ 「教職協働」により、「2040年問題」（大学進学者20%減）を乗り越える力を蓄える

II 課題と展望

1 学生を「面倒見よく育てる大学」として、地元の信頼を基盤に全国的にも知られた大学をめざす

- ・ 特色ある教育・研究実績を上げ、地域密着型の「商大ブランド」（TUC）を維持・発展させる

2 教学体制の確立

- ・ 大学・大学院の入学・収容定員を確保する
- ・ 高大連携（附属・地元高校との連携、Haul-Aプロジェクト・SAH）を堅持する
- ・ 教学マネジメントを確立し、教育の質保証を図る

3 今後の展望

- ・ 大学開学20周年（2021年）へ向けてtoTUC計画を推進する
- ・ 経営学科および会計学科の完成（2020年度）に注力する
- ・ 大学院研究科では、社会の高度な人材要請に応えるべく改革を継続する

III 大学運営

1 教育と研究

- ・ アクティブラーニングを取り入れ、感動を与える授業・教育に努める
- ・ 地域社会の要請に応じて教育・研究を進め、その成果を還元する
- ・ 外部資金の獲得をめざす

2 学生生活

- ・ 学習・生活満足度の向上・維持に努め、卒業・進路支援につなぐ

3 社会・地域貢献

- ・ 地元地域貢献（公開講座、地元・地域の活性化支援）に努める

4 広報戦略・IR活動を強化

- ・ ステークホルダー・学外に向け、広報活動・情報発信を充実させる
- ・ 学内外のデータを収集・分析し、意思決定・運営に活用する

5 組織人としての行動

- ・ 教職員らしい品位を保ち、法令や規律を遵守し、快適な職場環境を確保する
- ・ FD活動とSD活動を連携させ、教職協働により大学運営の改善に取り組む
- ・ 普段から経費の節減に努める

6 対外関係

- ・ 産官学金言民の連携、国内外の大学等との連携を維持・強化する

※「運営方針」を組織・個人目標に落とし込みPDCA（計画・実行・評価・改善）を実践する